

第 2 事業年度

事業計画書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東 1 条南 2 丁目 1 番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://homepage3.nifty.com/tokachikusirosakemas/>

E-mail : sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

平成26年度 基本方針-----	1
事業計画-----	3
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業-----	3～5
(1) 親魚捕獲採卵事業	
(2) ふ化放流事業	
(3) さけ・ます資源高品質化推進事業	
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業-----	4～5
(1) ふ化施設整備計画	
(2) 道増協改良積立金による施設整備	
(3) 捕獲施設整備計画	
3. ふ化放流事業助成事業-----	5
4. さけます資源保護対策-----	5～6
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密猟防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
5. 釧路川資源調査事業・太平洋サケ資源回復調査委託事業-----	6
(1) さけ資源の増殖と効率的管理に関する調査業務	
(2) 太平洋サケ資源回復調査委託事業	
6. 受入並びに負担事業-----	6～7
(1) さけ・ます増殖事業支援事業（基準事業費）	
(2) 秋さけ資源増大対策資金	
7. 施設整備5ヶ年計画（平成26年～30年）-----	7
収支予算書-----	8～10
平成26年度会費の額及び徴収方法-----	11
別表 1 -----	12

平成26年度 基本方針

平成25年度の十勝・釧路管内の秋さけ定置漁業は、魚価高という好要因もあって漁獲金額の上では、平成22年度から3年間続いた35億円前後の不漁を脱し、50億円に到達したところであります。しかし、来遊の実態は海面漁獲及び河川捕獲をあわせても約350万尾と、平年比に対してまだ約7割程度に留まっており、必ずしも資源的には大きく回復したとはいえ、特に釧路管内は、河川捕獲が極端に低迷するなど将来に不安材料を残しているのが実情であります。幸い、十勝川における河川捕獲尾数が4年ぶりに20万尾を超え、27万尾に達したことにより、どうにか管内全体で必要とする種卵の確保が出来たところであります。

このような状況から推し量ると、本年度についても魚価高になるという保証もない中では、まだまだ楽観できる状況にないと考えられますので、引き続き緊張感を持ってふ化放流事業を行うとともに、節約を基調とした慎重な財務運営が求められているものと認識しております。

以上を踏まえて、本年度については以下の事項を基本方針として事業の推進を図って参りたいと考えております。

1 釧路川資源の回復に向けた取り組みの推進

近年、河川捕獲の低迷や沿岸来漁獲量の減少が見られる釧路川資源の回復に向け、その要因の究明や、ふ化放流技術の改良のため、国・道の支援のもと、3年目に入る総合的な調査事業の推進に努めます。

2 施設整備の推進

管内の捕獲及びふ化放流施設は全般的に老朽化が進んでおり、その維持補修が大きな課題となっていることから、「さけ飼育施設改良支援事業」等の導入を図りながら、本年度は幕別捕獲場の改良を中心に取を進めます。なお、漁獲割会費の特別負担により多少の余裕財源が生じたものの、これをやみくもに使うことは将来に不安を残すこととなるため、今後の施設整備については慎重に検討のうえ、単年度ごとに重点的施設を選びながら整備を進めることとします。

3 ふ化放流技術の向上に向けた取り組みの推進

釧路川資源の回復に向けた取り組みと並行して、魚病対策はもとより、北水研さけます資源部や道内水試の指導等を踏まえ、不断にふ化放流技術の向上に向けた業務の推進に取り組んで参ります。

4 適正な法人運営の推進

非営利型の一般法人として2年目を迎えるが、関係諸法令を遵守し、適正な法人運営を行って参ります。

5 節約を基調とした財務運営

昨年は沿岸漁獲が50億を超えたものの、資源水準が回復したとは必ずしもいえないため、本年についても、引き続き35億円レベルの最低水準の漁獲高を想定しながら財務運営を図っていく必要があることから昨年、一昨年同様にあくまでも節約を基調とした財務運営に努めていきます。

このため、漁獲高割会費については、会員皆様のご理解のもと、お約束の3年目として、本年度も3%の特別負担をして頂き、計画の漁獲高に達した以降の特別負担で得られる会費については、経営体質の強化や今後の施設整備のための財源として役立てて行きたいと考えております。また合わせて特別負担の期限切れとなる来年以降については漁模様等を勘案しながら検討をして参ります。

以上を基本方針として、本年度事業に取り組んで参りますが、本会の役割はあくまでも良質なさけ稚魚を生産し放流することであります。ふ化放流計画の達成に向け引き続き努力して参りますので、会員各位の御理解、御協力をお願い申し上げますとともに、関係機関の御指導・御支援の程を切にお願いする次第であります。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

当協会の基幹事業であり、会員皆様の貴重な会費によって運営しております。さらに、この事業の円滑な運営には基準事業費の受入は不可欠で、昨年度同額の 247,600 千円が本会に給付されます。この制度のあり方を十分理解し、効率的、合理的な運営に努めて参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

この事業は、全道的に各管内増協が北海道から業務委託を受けたなかで、特別採捕許可を受けて実施しております。本年も昨年と同様に、捕獲は3事業河川及び5補完河川、2非捕獲河川の計10河川で実施致します。

釧路川について採卵数が計画を充足できない事が予想されますので、昨年同様に補完河川、非捕獲河川、又は十勝川で種卵確保の対応を致します。

また、広尾川についても同様に補完河川、十勝川からの種卵確保により対応致します。

系群保全河川である十勝川で不測の事態が予測される場合は、十勝・釧路管内で漁業者が協議し、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会等を通じて網上げ等の措置を講じて頂き、河川遡上を促し親魚確保に全力を注ぎ種卵確保に努めます。

不要親魚等の売却についても、3事業河川と5補完河川と2非捕獲河川で行い、各漁協に捕獲業務を委託している補完河川については、経費に充当するよう全額を戻します。事業河川は総売却代金から諸費用を控除後、負担率の定めにより算出した金額を道増協に納付致します。

これらの親魚等については例年通り帯広地方卸市場、釧路市漁協市場、広尾漁協市場、また補完河川、非捕獲河川については最寄りの市場に上場致します。

親魚売却計画（事業河川）

(千円)

区分	売却額	消費税	販売諸費	差引残額	道増協負担金	摘要
釧路地区	6,500	520	419	5,561	560	
十勝地区	12,000	960	773	10,267	1,030	
広尾地区	1,500	120	97	1,283	130	
合計	20,000	1,600	1,288	17,112	1,720	

(2) ふ化放流事業（別表1及び2の資料参照）

北海道が策定したふ化放流計画に基づいて、健苗な稚魚を成育し適期に放流することを目標に、万全の体制で取り進め致します。

ふ化放流事業については、二次飼育を含め21ヶ所の飼育施設と、資源の均等化と陸上施設の不足を補完する目的で、漁港内及び海浜域9ヶ所の海中飼育施設において、関係機関のご指導のもと14名の技術職員と臨時職員、並びに各漁協・定置部会のご支援を得て適期放流と健苗な稚魚の育成に努めます

二次飼育の餌料については本会の対応としておりますが、事業費に対しても助成事業として取り進め致します。

[平成 26 年度 さけ捕獲採卵ふ化放流計画]

海区	地区	期 別	捕 獲 数 (尾)	採 卵 数 (千粒)	収 容 卵 数 (千粒)	稚魚生産数 (千尾)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数 (千尾)	
エリモ以東	東 部	前 期	43,400	39,850	44,330	37,440	37,440	5,300	
		中 期	47,800	43,920	47,460	40,240	40,240	8,200	
		後 期	20,200	18,490	18,490	15,720	15,720	0	
		計	111,400	102,260	110,280	93,400	93,400	13,500	
	西 部	前 期	60,000	55,160	50,680	42,990	42,990	1,000	
		中 期	71,100	65,310	61,770	52,840	52,840	4,000	
		後 期	20,500	18,790	18,790	16,070	16,070	0	
		計	151,600	139,260	131,240	111,900	111,900	5,000	
	合 計			263,000	241,520	241,520	205,300	205,300	18,500

(3) さけ・ます資源高品質化推進事業について

さけ・ます高品質のための適地放流手法の開発し、漁業者の受益に見合った、道県を超えた広域的な放流費用負担の調整を目標とした事業であり、以下の通り実施致します。

補助対象尾数(千尾)	単価(円/尾)	適地放流調査稚魚 売却収入(千円)	施標業務受託収入 (千円)
3,200	3.2	10,240	1,760

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

(1) ふ化施設整備計画

各ふ化場の施設・設備等の主な整備については以下の通り実施致します。(100万円以上)

(千円)

実 施 ふ 化 場 名	整 備 内 容	事 業 費	摘 要
オソツベツふ化場	池掃除機	3,400	
更 別 ふ 化 場	池掃除機	3,400	
	水利権取得調査	1,250	
幕 別 ふ 化 場	屋根補修	1,000	
札 内 ふ 化 場	水中ポンプオーバーホール (3台)	1,500	
広 尾 ふ 化 場	浮上槽設置工事	10,450	
合 計		21,000	

(2) 道増協改良積立金による施設整備

道増協施設整備改良積立金を活用し、施設整備を行います。

実施ふ化場名	整備内容	事業費	摘要
幕別捕獲場	鋼矢板改良工事	32,400	事業負担内訳参照

事業負担内訳

道増協改良積立金	長期資金借入	自己資金	合計	備考
50%	40%	10%	100%	
16,200	12,960	3,240	32,400	

(3) 捕獲施設整備計画

捕獲場の施設、設備等の補修の主な整備については以下の通り実施致します。(100万円以上)

(千円)

実施ふ化場名	整備内容	事業費	摘要
釧路捕獲場	4tクレーン	1,500	
	船外機エンジン	2,000	
	網巻き上げ機	1,000	
幕別捕獲場	活魚タンク	1,700	
合計		6,200	

3. ふ化放流事業助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して応分の助成を致します。

釧路地区

(千円)

幌戸	太田	チョロベツ	庶路	茶路	音別	小計
7,950	3,250	7,320	1,130	8,300	3,050	31,000

十勝地区

(千円)

更生	小紋別第1	小紋別第2	大樹	小計	合計
5,450	1,550	1,700	950	9,650	40,650

4. さけ・ます資源保護対策事業

(1) 試験調査事業

(独) 水産総合研究センター北海道区水産研究所さけます資源部(以下「北水研」)が行う、エリモ以東海区の幼稚魚河川分布調査、モニタリング調査、北海道が秋さけ来遊資源予測の向上と適切な資源利用を目的として実施する耳石調査等、回帰資源の高位安定と効率事業推進のための各種試験及び調査の実施に積極的に協力致します。

(2) 教育研修活動

北水研、北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。

作業の効率を図るため、必要な作業免許の取得を行います。(大特、整地、小型移動式クレーン)

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査、及び汚濁防止のための監視活動、水質保全のための水質調査、開発建設部並びに北海道土木現業所が行う河川工事について、引続き関係機関との協力体制のもとに実施致します。

5. 釧路川資源調査事業・太平洋サケ資源回復調査委託事業

平成24年から始まりました釧路川資源調査事業ですが、平成25年度から北海道、水産庁の支援を受け調査する事になり、本年も以下の通り調査を実施します。

(1) さけ資源の増殖と効率的管理に関する調査業務

遡上が不振となっている釧路川の資源について、その要因や対策を総合的に調査分析するために北海道の支援を受け調査します。

(千円)

事業名	委託主体	委託金額
さけ資源の増殖と効率的管理に関する調査業務	北海道	600

(2) 太平洋サケ資源回復調査委託事業

25年6月から水産庁が主体となり北水研、内水試、道増協、釧定協と連携し、稚魚モニタリング調査、降河の動態調査、海洋調査、胃内容物分析調査など行います。

(千円)

事業名	委託主体	委託金額
太平洋サケ資源回復調査委託事業	水産庁	11,720

6. 受入並びに負担事業

(1) さけ・ます増殖事業支援事業 (基準事業費)

道増協が実施する増殖事業支援事業制度について事業費負担をし、さけ・ます稚魚飼育放流事業及び親魚捕獲採卵事業に対して助成金(基準事業費)を受け入れます。

なお、基準事業費については全道の各管内増協が漁獲金額に応じて負担する12億円を原資とし

て、各管内増協が実施している稚魚放流数並びに採卵数を基礎として算出されます。

増殖支援事業費（千円）助成金	漁獲高割負担金（千円）	差引額（千円）
247,600	100,000	147,600

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本協会が実施する増殖施設整備事業に充当する目的の、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの寄付金について、適正に管理運用致します。

7. 施設整備5ヶ年計画

施設整備5ヶ年計画

(千円)

年度	内 訳				費用
	新 設	大規模修繕	中規模修繕	ローカルその他	
26		幕別捕獲場 32,400	幕別ふ化場 1,000 標茶ふ化場 1,000	楽古ふ化場 9,000 幌戸捕獲場 大樹地区ふ化場 10,000	53,400
27		更別第二飼育場 25,000	標茶ふ化場 5,000 更別第二飼育場 12,000	茶路ふ化場 85,000	127,000
28		標茶ふ化場 40,000 美留和ふ化場 28,000		太田飼育場 400	68,400
29	札内ふ化場 士幌ふ化場 200,000	札内ふ化場 25,000 釧路捕獲場 10,000			235,000
30	釧路地区 85,000	釧路捕獲場 10,000	幕別ふ化場 6,000		101,000
費用合計	285,000	170,400	25,000	104,400	584,800

収 支 予 算 書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単価:千円)

科 目	平成26年予算額	平成25年予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	10	10	0
特定資産受取利息	10	10	0
受取入会金	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費	388,400	388,400	0
正会員受取会費	400	400	0
漁獲高割受取会費	353,000	353,000	0
特別受取会費	35,000	35,000	0
事業収益	44,320	29,140	15,180
親魚捕獲採卵事業収益	20,000	15,000	5,000
高品質化推進事業収益	10,240	11,520	△ 1,280
業務受託収益	14,080	2,620	11,460
施標業務受託収入	(1,760)	(1,720)	(40)
道委託金	(600)	(900)	(△300)
水産庁委託金	(11,720)	(0)	(11,720)
受取補助金等	286,092	282,645	7,794
受取地方公共団体補助金	0	900	△ 900
受取地方公共団体補助金振替額	20,795	20,795	0
受取道増協賛助金	265,297	260,950	4,347
道増協基準事業費収入	(247,600)	(247,600)	(0)
道増協助成金収入	(16,200)	(12,500)	(3,700)
道増協利息助成金収入	(300)	(850)	(△550)
道増協助成金振替額	(1,197)	(0)	(1,197)
雑収益	1,160	960	200
受取利息	10	10	0
職員住宅料収入	850	850	0
雑収益	300	100	200
経常収益 計	719,982	701,155	23,174

科 目	平成26年予算額	平成25年予算額	増 減
(2) 經常費用			
① 事業費	635,809	629,938	5,871
役員報酬	3,600	3,600	0
給料手当	64,700	63,900	800
臨時雇賃金	97,000	97,000	0
役員退任慰労金	450	450	0
退職給付費用	6,293	6,671	△ 378
法定福利費	20,000	21,600	△ 1,600
福利厚生費	5,300	4,810	490
会議費	420	200	220
旅費交通費	4,800	3,800	1,000
通信運搬費	3,000	2,900	100
減価償却費	127,109	136,977	△ 9,868
備品費	4,000	1,870	2,130
消耗費	26,900	26,000	900
餌料費	41,200	40,000	1,200
施設費	2,160	450	1,710
施設調査費	3,000	5,000	△ 2,000
補修修繕費	28,400	26,800	1,600
燃料費	18,500	17,500	1,000
光熱水料費	6,400	6,200	200
動力費	60,300	59,000	1,300
賃借料	17,500	14,800	2,700
車輛費	33,500	32,500	1,000
親魚販売諸費	1,400	1,750	△ 350
公租公課	7,500	7,500	0
支払負担金	45,777	44,060	1,717
雑費	6,600	4,600	2,000

科 目	平成26年予算額	平成25年予算額	増 減
②管理費	146,941	146,604	337
役員報酬	2,400	2,400	0
給料手当	11,300	11,000	300
役員退任慰労金	300	300	0
退職給付費用	1,007	1,066	△ 59
法定福利費	3,500	3,200	300
福利厚生費	550	590	△ 40
会議費	700	750	△ 50
旅費交通費	3,500	4,400	△ 900
通信運搬費	900	900	0
減価償却費	1,424	1,393	31
備品費	200	500	△ 300
消耗品費	700	500	200
図書購入費	100	130	△ 30
修繕費	1,000	600	400
印刷製本費	180	180	0
燃料費	800	840	△ 40
車輛費	1,000	960	40
光熱水料費	500	550	△ 50
賃借料	4,350	4,350	0
広告宣伝費	130	130	0
保険料	2,000	1,900	100
租税公課	2,000	3,000	△ 1,000
支払負担金	104,700	103,410	1,290
道増協漁獲高割負担金支出	(100,000)	(100,000)	(0)
道増協施設整備改良積立金支出	(2,500)	(1,600)	(900)
増殖施設有償貸付負担金支出	(450)	(450)	(0)
親魚売却負担金支出	(1,720)	(1,330)	(390)
負担金支出	(30)	(30)	(0)
支払利息	1,250	1,605	△ 355
支払利息支出(短期運営資金)	(1,000)	(1,500)	(△500)
支払利息支出(長期運営資金)	(250)	(105)	(145)
交際費	450	450	0
雑費	2,000	1,500	500
経常費用 計	782,750	776,542	6,208
当期経常増減額	△ 62,768	△ 75,387	12,619
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 62,768	△ 75,387	12,619
一般正味財産期首残高	1,266,951	1,297,360	△ 30,409
一般正味財産期末残高	1,204,183	1,221,973	△ 17,790
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	0	0	0
② 一般正味財産への振替額	△ 21,992	△ 20,795	△ 1,197
地方公共団体補助金振替額	△ 20,795	△ 20,795	0
道増協助成金振替額	△ 1,197	0	△ 1,197
当期指定正味財産増減額	△ 21,992	△ 20,795	△ 1,197
指定正味財産期首残高	309,543	337,053	△ 27,510
指定正味財産期末残高	287,551	316,258	△ 28,707
III 正味財産期末残高	1,491,734	1,538,231	△ 46,497

平成26年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10漁業協同組合及び10市町村の会員に対して2万円の負担をお願い致します。

(2) 秋さけ定置漁業会員会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の9.9%とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.0%を施設整備のための積立とする。

(3) 春さけ定置漁業会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の2.0%とする。

会費は8月31日までに納入願います。

(4) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会するものは2万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、毎月10日までに納入願います。

別表-1

平成26年度サケ人工ふ化放流計画:全体(案)

(一社)十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考		
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)					
えりも 以東	東部	根室							落石	0	0	芦別 500 芦別 500 芦別 500	500 500 500	◎昆布盛 ◎三里浜 ◎沖根婦漁港	500 500 500			
			(幌戸)										芦別 1,900 オソツベツ 1,800 オソツベツ 1,300 標茶 1,670 オソツベツ 800	幌戸	3,700			
		(藻散布)											美留和 0 標茶 2,000 オソツベツ 1,000	◎霧多布港湾冲 新川	2,970 800			
													美留和 490 オソツベツ 500	◎藻散布港湾	990			
			(別寒辺牛)										美留和 2,820 標茶 980 オソツベツ 2,000 美留和 2,950 標茶 0	別寒辺牛 ◎厚岸漁港	3,800 4,950			
		釧路	(チヨロベツ)											標茶 990 オソツベツ 2,000 標茶 990	◎老者舞漁港 チヨロベツ ◎昆布森漁港	990 2,000 990		
				釧路	111,400	102,260								美留和 120	◎釧路港東港区	120		
														美留和 4,600 茶路 990	庶路 ◎白糠漁港	4,600 990		
			茶路									9,590	8,190		茶路	7,200		
		地区計			111,400	102,260	0	8,020	11,000		110,280	93,400		31,400		93,400		
	西部	釧路								音別	10,600	9,000			音別 9,000 厚内 1,500	9,000 1,500		
			幕別 千代田	141,300	129,570	8,020	17,500	更別第1 ※十勝 幕別 札内	12,900 17,500 28,000 28,500	10,990 15,300 23,810 24,200				◎厚内漁港 十勝	3,000 60,500	200千粒減		
		(歴舟)																
			(小紋別)															
			(楽古)															
		広尾																
			楽古 広尾	10,600	9,690				3,540 21,400	3,000 18,200							◎十勝港 音調津 ◎音調津漁港	3,000 3,400 11,800 1,000 1,000 1,000
		地区計			151,900	139,260	8,020	0	17,500	0	131,240	111,900	0	20,200	0	111,900		
		海区計			263,300	241,520	8,020	8,020	28,500		241,520	205,300		51,600		205,300		

※は(独)北水研さけます資源部

稚魚生産率85%、捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,400粒

係数1.089 * 収容卵数 = 捕獲尾数

(楽古についての4,600千尾減については、施設整備後集約完了まで保留)

平成26年度カラフトマス人工ふ化放流計画

海区	地区	支庁	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
えりも 以東	東部	根室							落石	1,900	1,500			◎落石地先	0	
			釧路 (幌戸)	4,300	1,900					芦別	0	0			釧路 幌戸	1,500
	地区計			4,300	1,900					1,900	1,500				1,500	
海区計																

平成26年度ベニザケ人工ふ化放流計画 (稚魚生産)

海区	地区	支庁	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		センターへの 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	幼魚生産場	幼魚生産 移行数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)					
えりも 以東	東部	釧路	釧路	※1	60	60		0	※鶴居	60	0	※静内	50	釧路	50	※静内	50	
				地区計		60	60		0		60	0		50	1水系	50		50
	海区計			60	60		0		60	0		50		50		50		